

みずほCustomer Desk Report 2018/02/09 号 (As of 2018/02/08)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.43
TKY 9:00AM	109.15	1.2270	133.95	1.3885	0.7818
SYD-NY High	109.78	1.2295	134.79	1.4067	0.7843
SYD-NY Low	108.58	1.2212	132.94	1.3846	0.7775
NY 5:00 PM	108.75	1.2247	133.19	1.3915	0.7780
NY DOW	23,860.46	▲ 1,032.89	日本2年債	-0.1500	▲ 1.00bp
NASDAQ	6,777.16	▲ 274.83	日本10年債	0.0800	1.00bp
S&P	2,581.00	▲ 100.66	米国2年債	2.1075	▲ 1.61bp
日経平均	21,890.86	245.49	米国5年債	2.5440	▲ 1.17bp
TOPIX	1,765.69	15.78	米国10年債	2.8267	▲ 0.63bp
シカゴ日経先物	21,180	▲ 675.00	独10年債	0.7595	1.80bp
ロンドンFT	7,170.69	▲ 108.73	英10年債	1.6170	6.70bp
DAX	12,260.29	▲ 330.14	豪10年債	2.8425	0.25bp
ハンセン指数	30,451.27	128.07	USDJPY 1M Vol	9.85	0.75%
上海総合	3,262.05	▲ 47.21	USDJPY 3M Vol	9.45	0.50%
NY金	1,319.00	4.40	USDJPY 6M Vol	9.35	0.38%
WTI	61.15	▲ 0.64	USDJPY 1M 25RR	-2.25	Yen Call Over
CRB指数	191.77	▲ 0.57	EURJPY 3M Vol	10.35	0.78%
ドルインデックス	90.30	0.04	EURJPY 6M Vol	10.09	0.72%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月8日	12:41	中 貿易収支	1月 \$20.34b	\$54.65b
	18:00	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	短期的に金利を変動させる論、強くない	
	18:15	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	今年の利上げ「3回に」	
	19:45	欧 プラートECB専務理事 講演	QE終了近づけば「相当期間」より具体的表現に	
	21:00	英 イングランド銀行政策金利	0.5%	0.5%
	21:30	英 カーニーBOE総裁 講演	利上げは想定より早期かつ大幅になる	
	22:30	米 新規失業保険申請件数	221k	232k

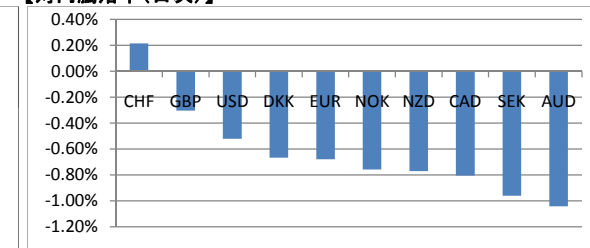
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月9日	10:30	中 PPI/CPI (前年比)	1月 4.3%/1.5%	4.9%/1.8%
	11:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	18:30	英 鉱工業生産 (前月比/前年比)	12月 -0.9%/0.3%	0.4%/2.5%
	18:30	英 製造業生産 (前月比/前年比)	12月 0.3%/1.2%	0.4%/3.5%
2月10日	0:00	米 卸売在庫 (前月比)・確報	12月 0.2%	0.2%
	1:45	英 カンリフBOE副総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-110.00	1.2200-1.2300	133.50-135.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円はやや上昇。米株式市場がまだ不安定ながらも一部落ち着きを取り戻したことや、米上院指導部が2年間の予算で超党派の合意が成立したとの発表を受け、ドル円は上値は重いながらも底堅く推移し、109円台前半で引け。本日のドル円は引き続き株などのリスク資産や債券市場の動きに左右される展開を想定。

東京	東京時間のドル円は109.15レベルでオープン、オープン直後に一時109.12まで下落したものの、日経平均株価が前日比200円超高となったことやウリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁の「景気が過度に減速するという下振れリスクはそれほど懸念していない」との発言が意識されたこと等からドル円は下げ止まり、その後は109円台前半でもみ合い推移に。午後になり、日経平均株価が一段高となるとドル円も連れ高推移となり一時109.69まで上昇した後、109.64レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.64レベルでオープン、中国が対外投資スキームを再開したことを背景に、ドルが買われたことで高値109.78まで上昇、109.64レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3908レベルでオープン、EUが英離脱後の移行期間の拡大を準備していると伝わったことから、買いが優勢。注目された英中銀金融政策委員会では、予想通り据え置きが決定されるも、同時に発表されたインフレ報告で、GDP見通しが上方修正され、経済が予想通り成長した場合、引き締めはやや早期に実施する必要との文言が盛り込まれたことから1.4015まで急騰、1.3990レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	中国が国外への資金流出を防ぐ為、海外投資を凍結や制限をしていたが、2年ぶりに再開したとの報道を受けドル買いが強まったことから、海外市場で高値109.78まで上昇したドル円は、109.64レベルでNYオープン。朝方は新規失業保険申請件数が予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的となるが、寄り付き後の株式市場が下落し、その後も下落幅を広げる展開に、円買いが強まり、タリナーNY連銀総裁の「株安続けば、支出に影響が出る可能性」との発言もあり、安値108.58まで下落。NY午後、680ドル安まで下落幅を拡大していたタリナー、タリナーNY連銀総裁の「インフレはまだ2%を下回っており、Fedは我慢できる」との発言も伝わったこともあり、下落幅を縮小する展開に円売りが強まり、109.00まで反発。しかし終盤に掛けてタリナーが下げ幅を再度拡大し、4%超安で引ける展開に円買いが強まり、108.75レベルでクロスした。一方、前述の中国のニュースを受けたドル買いに加え、英中銀のインフレ報告書でより早期に一段の利上げ必要との見解が示されたことから、ユーロポンドが下落する動きも加わり、ユーロドルは安値1.2212まで下落し、1.2237レベルでオープン。朝方はドル売りが先行し、1.2295まで戻す局面もあったものの、株安を受けたユーロ円の下落にユーロドルも1.2233まで反落。NY午後、1.2273まで戻す局面もあったものの、タリナーが1000ドル超安で引ける展開に、上値を抑えられ、1.2247レベルでクロスした。(NY17:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西谷・田家